

FY2023 Presentation

1. **Oral**
“Neurotransmitter receptor labeling in live brain by ligand-directed chemistry”, Itaru Hamachi, 7th Gratama Workshop, Nagasaki, Japan, May 10-12, 2023.
2. **Oral**
“Neurotransmitter Receptors Labeling and Imaging in the Mouse Brain”, Itaru Hamachi, FASEB-SRC “The Optical Probes Conference: Discovery to Application”, Palm Springs, California, USA, June 4-8, 2023.
3. **Oral**
“Ligand-directed Neurotransmitter Labeling and its Proximal Proteomics in Live Brain””, Itaru Hamachi, The 13th International Activity Based Protein Profiling Meeting, The David Lopatie Conference Centre Weizmann Institute of Science, Israel, July 17-19, 2023.
4. **Oral**
“Design of multicomponent supramolecular hydrogel systems”, Itaru Hamachi, The lecture at Wuhan University of Technology, online, China, August 8, 2023.
5. **Oral**
「ケミカルラベルで細胞、脳内を解析する分子技術」、浜地 格、日本ケミカルバイオロジー学会第 17 回年会、大阪大学豊中キャンパス、2023 年 5 月 29 日-5 月 31 日
6. **Oral**
「タンパク質の構造・動態解析に資するケミカルラベル」、浜地 格、日本顕微鏡学会第 79 回学術講演会、くにびきメッセ、2023 年 6 月 26 日-6 月 28 日
7. **Oral**
「Coordination chemistry で生命分子夾雑系の解析と制御に挑む」、浜地 格、第 4 回 錯体化学会フロンティアセミナー：金属が貢献するバイオ研究最前線、オンライン、2023 年 6 月 28 日
8. **Oral**
「脳内有機化学の開拓を目指して」、浜地 格、九州大学大学院工学研究院応用化学部門（分子）教室セミナー、九州大学伊都キャンパス、2023 年 7 月 3 日
9. **Oral**
“Construction of supramolecular double-network hydrogels based on self-sorting”, Ryou Kubota, Mini-Workshop on Biomaterial & Biochemistry between the University of Toronto & Kyoto University, Katsura Campus, Kyoto University, May 12, 2023.

10. **Oral**
「オプトケモプロテオミクスによるマウス脳内受容体インタラクトーム解析」、田村 朋則、第 74 回日本電気泳動学会学術大会、石垣市民会館、2023 年 5 月 18 日-5 月 20 日
11. **Oral**
“Tyrosinase-based proximity labeling in living cells and in vivo”, Hao Zhu、新学術領域研究「生命金属科学」第 2 回 生命金属科学シンポジウム、慶應義塾大学 矢上キャンパス、2023 年 5 月 20 日-5 月 21 日
12. **Oral**
「生きたマウス脳内でのミクログリア化学標識法の開発」、野中 洋、王 萌初、浜地 格、日本ケミカルバイオロジー学会 第 17 回年会、大阪大学豊中キャンパス、2023 年 5 月 29 日-5 月 31 日
13. **Poster**
「リガンド指向性化学による脳内ミクログリアの選択的化学標識」、王 萌初、野中 洋、浜地 格、日本ケミカルバイオロジー学会 第 17 回年会、大阪大学豊中キャンパス、2023 年 5 月 29 日-5 月 31 日
14. **Poster**
“FixEL enables trapping small molecules in the brain to visualize their 3D distribution based on PFA-mediated tissue fixation chemistry”, Takeharu Mino, Junior Scientist Workshop on Imaging Techniques and Molecular Tools for Biology, Janelia Research Campus, USA, May 30-June 2, 2023
15. **Oral**
「生きた細胞内でのタンパク質自己凝縮過程アッセイ法の開発」、中村 秀樹、第 23 回日本蛋白質科学年会、名古屋国際会議場、2023 年 7 月 5 日-7 月 7 日
16. **Oral**
“Towards arbitrary manipulation of micro-structures inside living cells”, Hideki Nakamura, Grant-in-Aid for Transformative Research Areas (B) SPEED Symposium – a Bridge between Chemistry and Biotechnology –, iCeMS, Kyoto University, July 10, 2023.
17. **Oral**
「超分子-高分子複合ヒドロゲルのその場構造観察と機能開拓」、窪田 亮、第 69 回高分子研究発表会、兵庫県民会館、2023 年 7 月 14 日
18. **Poster**
「タンパク質化学修飾のための新規反応基: N-acyl-N-aryl sulfonamide の開発」、河野 正晴、村川 駿介、田村 朋則、Antoniazzi Giuseppe、野中 洋、浜地 格、第 34 回生体機能関連化学部会若手の会サマースクール、あいち健康の森プラザホテル、2023 年 7 月 20 日-7 月 21 日
19. **Poster**
「1 細胞内における脂質合成量とタンパク質合成量の同時解析技術の開発」、小池 佑真、土谷 正樹、浜地 格、第 34 回生体機能関連化学部会若手の会サマースクール、あいち健

康の森プラザホテル、2023 年 7 月 20 日－7 月 21 日

20. **Poster**

「脳内ミクログリアの選択的化学標識試薬の開発」、王 萌初、野中 洋、浜地 格、第 34 回生体機能関連化学部会若手の会サマースクール、あいち健康の森プラザホテル、2023 年 7 月 20 日－7 月 21 日

21. **Poster**

「ペルオキシナイトライト応答性タンパク質ラベル化剤の開発」、宇野 寛彬、Hao Zhu、浜地 格、第 34 回生体機能関連化学部会若手の会サマースクール、あいち健康の森プラザホテル、2023 年 7 月 20 日－7 月 21 日

22. **Poster**

「光駆動非平衡パターンニングによる超分子・高分子複合ゲルにおける三次元構造化」、生田 優力、中村 圭佑、窪田 亮、浜地 格、第 34 回生体機能関連化学部会若手の会サマースクール、あいち健康の森プラザホテル、2023 年 7 月 20 日－7 月 21 日

23. **Oral**

「ケミカルバイオロジー分野におけるプロテオフォーム解析の重要性」、田村 朋則、日本プロテオーム学会 2023 年大会、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター、2023 年 7 月 24 日－7 月 26 日

24. **Oral**

「超分子－高分子複合ヒドロゲルの共焦点その場観察：四種類のネットワーク構造の発見と特性」、窪田 亮、中村 圭佑、青山 拓磨、浦山 健治、第 33 回バイオ・高分子シンポジウム、東京工業大学大岡山キャンパス、2023 年 7 月 27 日－7 月 28 日

25. **Oral**

“Screening of genes involved in lipid metabolism using organelle-selective lipid labeling”, Tomonori Tamura, IPR & iCeMS Joint Seminar”Biological Chemistry on Membranes – Understanding and Engineering -”, iCeMS, Kyoto University, August 28-29, 2023.

26. **Oral**

「生体分子夾雑の有機化学を目指して」、浜地 格、東京大学化学生命工学専攻第 16 回 ChemBio ハイブリッドレクチャー、東京大学本郷キャンパス、2023 年 9 月 25 日

27. **Oral**

「金属イオン/酸化ストレス応答性タンパク質修飾プローブを用いたコンディショナルプロテオミクス」、田村 朋則、第 47 回日本鉄バイオサイエンス学会学術集会、岡山理科大学 40 周年記念館、2023 年 9 月 2 日－9 月 3 日

28. **Poster**

「チロシナーゼを用いた生細胞での近傍タンパク質ラベル化法の開発」、松田 侑奈、令和 5 年度新学術領域「生命金属科学」夏の合宿、2023 年 9 月 8 日－9 月 9 日

29. **Poster**

「脂肪酸代謝物のオルガネラ選択的ラベリング」、木村 天海、土谷 正樹、田村 朋則、浜地 格、第 17 回バイオ関連化学シンポジウム、東京理科大学野田キャンパス、2023 年 9 月 8

日-9月10日

30. **Poster**

「1 細胞分解能を有する PC 合成量とタンパク質合成量の同時解析技術の開発」、小池 佑真、土谷 正樹、浜地 格、第 17 回バイオ関連化学シンポジウム、東京理科大学野田キャンパス、2023 年 9 月 8 日-9 月 10 日

31. **Poster**

「シナプスプロテオミクスを志向したチロシナーゼによる in vivo 近傍タンパク質ラベル化法」、美野 丈晴、Zhu Hao、Oh Jae、浜地 格、第 17 回バイオ関連化学シンポジウム、東京理科大学野田キャンパス、2023 年 9 月 8 日-9 月 10 日

32. **Poster**

「脳内リガンド指向性化学とクリックケミストリーを組み合わせた神経伝達物質受容体への分子修飾戦略」、野中 洋、白岩 和樹、坂本 清志、浜地 格、第 17 回バイオ関連化学シンポジウム、東京理科大学野田キャンパス、2023 年 9 月 8 日-9 月 10 日

33. **Oral**

「オルガネラ選択的脂質ラベリングを利用した脂質代謝因子の CRISPR スクリーニング」、田村 朋則、第 17 回バイオ関連化学シンポジウム、東京理科大学野田キャンパス、2023 年 9 月 8 日-9 月 10 日

34. **Oral**

“Self-Sorted Supramolecular Double-Network Hydrogels: Toward Life-Like Autonomous Biomaterials”, Ryo Kubota, International Congress on Pure & Applied Chemistry Bali 2023 (ICPAC Bali 2023), Bali, Indonesia, September 13-17, 2023.

35. **Oral**

「超分子-高分子複合ヒドロゲルにおける四種類のネットワーク構造の発見と 3D パターニング」、窪田 亮、中村 圭佑、青山 拓磨、浦山 健治、浜地 格、第 72 回高分子討論会、香川大学 幸町キャンパス、2023 年 9 月 26 日-9 月 28 日

36. **Poster**

「光応答性複合(超分子)ゲルの非平衡 3D パターニング」、生田 優力、中村 圭佑、窪田 亮、浜地 格、第 72 回高分子討論会、香川大学 幸町キャンパス、2023 年 9 月 26 日-9 月 28 日

37. **Oral**

「クリックケミストリーを用いた細胞内代謝物の分析法の開発」、土谷 正樹、第 13 回リピッド合同カンファレンス、静岡県御殿場高原リゾート時之栖、2023 年 9 月 28 日-9 月 30 日

38. **Poster**

“Cell-Type-Specific Connect Proteomics to Decipher Chemo-Affinity Code”, Tetsuya Takano, The 1st JST International Symposium “Dynamics of Cellular Interactions in Multicellular Systems”, Karasuma Kyoto Hotel, Kyoto, Japan, July 27-28, 2023.

39. **Poster**
「海馬 CA1 シナプスにおける Cbln ファミリー分子の機能」、松田 恵子、荒井 格、今野 幸太郎、須山 成朝、林 亜由美、渡辺 雅彦、柚崎 通介、第 46 回日本神経科学大会、仙台国際センター、2023 年 8 月 1 日－8 月 4 日
40. **Oral**
「後根神経節における Cerebellin1 の局在と機能」、高杉 聡、松田 恵子、柚崎 通介、第 46 回日本神経科学大会、仙台国際センター、2023 年 8 月 1 日－8 月 4 日
41. **Poster**
「GtCCR4: プレシナプス機能解析のための新規光遺伝学ツール」、須山 成朝、今井 貴雄、山崎 世和、細島 頌子、角田 聡、神取 秀樹、柚崎 通介、第 46 回日本神経科学大会、仙台国際センター、2023 年 8 月 1 日－8 月 4 日
42. **Oral**
「新規ケモジェネティクスツールを用いた記憶・学習基盤の分子的理解」、掛川 渉、第 46 回日本神経科学大会、仙台国際センター、2023 年 8 月 1 日－8 月 4 日
43. **Poster**
“A novel role of GluK4 kainate receptors in synaptic plasticity and cerebellar motor learning”, Wataru Kakegawa, Retreat for Multidimensional Analysis of Memory Mechanisms, Gotemba TOKINOSUMIKA, Japan, August 5-8, 2023.
44. **Poster**
“Characterization of Contact Sites between Mesolimbic Dopaminergic Fibers and the Nucleus Accumbens using GRAPHIC”, Dilina Tuerde, Gotemba TOKINOSUMIKA, Japan, August 5-8, 2023.
45. **Poster**
“Molecular-resolution mapping of glutamate receptors using expansion microscopy”, Kazuya Nozawa, Gotemba TOKINOSUMIKA, Japan, August 5-8, 2023.
46. **Oral**
“Characterization of Contact Sites between Mesolimbic Dopaminergic Fibers and the Nucleus Accumbens using GRAPHIC”, Dilina Tuerde, Gotemba TOKINOSUMIKA, Japan, August 5-8, 2023.
47. **Oral**
“Molecular-resolution mapping of glutamate receptors using expansion microscopy”, Kazuya Nozawa, Gotemba TOKINOSUMIKA, Japan, August 5-8, 2023.
48. **Oral**
“Gene therapy in mouse model of human ataxia caused by mutations of CBLN1”, Tokiwa Yamasaki, Gotemba TOKINOSUMIKA, Japan, August 5-8, 2023.

49. **Poster**
“The Localization and Function of Cbln1 in PNS”, So Takasugi, Keiko Matsuda, Michisuke Yuzaki, The 5th UK-Japan Neuroscience Symposium, Vale Resort Pontyclun, UK, August 31-September 2, 2023.
50. **Oral**
“The Role of Cbln1 in Age-Related Hearing Loss: Insights from Cbln1 Knockout Mice”, Mari Shiozaki, The 5th UK-Japan Neuroscience Symposium, Vale Resort Pontyclun, UK, August 31-September 2, 2023.
51. **Oral**
「タンパク質構造変化に着目したグルタミン酸受容体のサブユニット選択的活性阻害」、三浦 裕太、日本ケミカルバイオロジー学会第 17 回年会、大阪大学豊中キャンパス、2023 年 5 月 29 日-5 月 31 日
52. **Poster**
「アデノシン A2A 受容体の光薬理学による活性制御法の開発」、鈴木 啓文、日本ケミカルバイオロジー学会第 17 回年会、大阪大学豊中キャンパス、2023 年 5 月 29 日-5 月 31 日
53. **Poster**
「細胞外表層の構造に着目したアデノシン A2A 受容体の化学遺伝学的活性化」、牧野 碧、日本ケミカルバイオロジー学会第 17 回年会、大阪大学豊中キャンパス、2023 年 5 月 29 日-5 月 31 日
54. **Poster**
「代謝型グルタミン酸受容体 mGlu1 の in vivo のケモジェネティクス:リガンドの最適化と in vivo 評価」、堂浦 智裕、日本ケミカルバイオロジー学会第 17 回年会、大阪大学豊中キャンパス、2023 年 5 月 29 日-5 月 31 日
55. **Oral**
「小脳運動学習の分子基盤に迫る GPCR 型グルタミン酸受容体 1 の in vivo ケモジェネティクス」、堂浦 智裕、第 17 回バイオ関連化学シンポジウム、東京理科大学野田キャンパス、2023 年 9 月 8 日-9 月 10 日
56. **Poster**
「アデノシン A2A 受容体サブタイプ選択的な光応答性リガンドの開発」、鈴木 啓文、堂浦 智裕、清中 茂樹、第 17 回バイオ関連化学シンポジウム、東京理科大学野田キャンパス、2023 年 9 月 8 日-9 月 10 日
57. **Poster**
「細胞外ループの塩橋構造に着目したアデノシン A2A 受容体の化学遺伝学活性化」、牧野 碧、堂浦 智裕、清中 茂樹、第 17 回バイオ関連化学シンポジウム、東京理科大学野田キャンパス、2023 年 9 月 8 日-9 月 10 日
58. **Poster**
「DNA 修復機構における核内相分離構造体を可視化できる新規蛍光タンパク質プローブの開発と動態解析」、渡邊 愛梨、深田 梨沙子、田代 有輝、金岡 英徳、清中 茂樹、第 17 回バイオ関連化学シンポジウム、東京理科大学野田キャンパス、2023 年 9 月 8 日-9 月

10 日

59. **Poster**

「ケモジェネティクス法による GPCR 型グルタミン酸受容体 1 の自在な活性制御」、近藤 匠、堂浦 智裕、長谷川 寛太、清中 茂樹、第 17 回バイオ関連化学シンポジウム、東京理科大学野田キャンパス、2023 年 9 月 8 日－9 月 10 日

60. **Oral**

“Bio-Orthogonal Two-Step labeling to Delineate Surface and Intracellular Trafficking of AMPA Receptors”, Kyohei Soga, Yutaro Sugihara, Kento Ojima, Kazuya Nozawa, Michisuke Yuzaki, Itaru Hamachi, Shigeki Kiyonaka, FASEB Science Research Conferences “The Optical Probes Conference: Discovery to Application, Palm Springs”, California, USA, June 4-8, 2023.

61. **Poster**

“Chemogenetic Regulation of Adenosine A2A Receptor Focusing on Subtype Selectivity of the Antagonists”, Yuma Matsuoka, Tomohiro Doura, Shigeki Kiyonaka, FASEB Science Research Conferences “The Optical Probes Conference: Discovery to Application, Palm Springs”, California, USA, June 4-8, 2023.

62. **Oral**

“Chemical approaches for understanding physiological roles of glutamate receptors in neurons”, Shigeki Kiyonaka, NanoNeuro 2023, Columbia University, NY, USA (online), July 20, 2023.

63. **Oral**

“Multi-component Supramolecular Hydrogels as Promising Biomaterials”, Itaru Hamachi, UC San Diego- Kyoto University KSAC Joint Research Symposium, Franklin Antonio Hall, UC San Diego, USA, October 10-11, 2023.

64. **Oral**

「動物脳内の受容体ケミカルラベルとその活用」、浜地 格、第 96 回日本生化学会大会、福岡国際会議場・マリノメッセ福岡 B 館、2023 年 10 月 31 日－11 月 2 日

65. **Oral**

「神経伝達物質受容体を狙った脳内有機化学」、浜地 格、有機合成化学研究所講演会(第 38 回)、京都大学桂キャンパス、2023 年 11 月 24 日

66. **Oral**

「タンパク質/脂質の in situ 修飾・解析・制御」、田村 朋則、岐阜薬科大学 薬化学研究室 特別講演会、岐阜薬科大学、2023 年 10 月 4 日

67. **Oral**

「ヘムトランスポーター FLVCR1 の未知機能の発見」、田村 朋則、土谷 正樹、浜地 格、メタルバイオサイエンス研究会 2023、岐阜市民会館、2023 年 10 月 5 日－10 月 6 日

68. **Oral**
「オルガネラ選択的脂質ラベリング」、田村 朋則、東京大学大学院工学系研究科 化学生命工学専攻 講演会、東京大学本郷キャンパス、2023 年 10 月 11 日
69. **Poster**
“A nongenetic, optochemical method for proximity labeling in the live mouse brain”, Mikiko Takato, Seiji Sakamoto, Hiroshi Nonaka, Tomonori Tamura, Itaru Hamachi, EMBL-Wellcome Connecting Science Conference-Proteomics in cell biology and disease mechanisms, EMBL Advanced Training Centre, Heidelberg, Germany, October 25-27, 2023.
70. **Oral**
「生きたマウス脳内でのミクログリア選択的化学修飾法の開発」、野中 洋、王 萌初、浜地 格、第 96 回日本生化学会大会、福岡国際会議場・マリノメッセ福岡 B 館、2023 年 10 月 31 日-11 月 2 日
71. **Oral**
「オルガネラ選択的脂質ラベリングと遺伝子スクリーニング」、田村 朋則、土谷 正樹、浜地 格、第 96 回日本生化学会大会、福岡国際会議場・マリノメッセ福岡 B 館、2023 年 10 月 31 日-11 月 2 日
72. **Oral**
「化学反応制御の液液相分離：化学者視点から考案した合成低分子ペプチドの合理的設計と機能発現」、窪田 亮、第 61 回日本生物物理学会年会、名古屋国際会議場、2023 年 11 月 14 日-11 月 16 日
73. **Poster**
「リジン残基を標的とした求電子反応基の開発とコバレントドラッグへの応用」、河野 正晴、分子夾雑に挑む化学、和歌山市民図書館、2023 年 11 月 30 日
74. **Poster**
「組織内の小分子を可視化する FixEL」、美野 丈晴、分子夾雑に挑む化学、和歌山市民図書館、2023 年 11 月 30 日
75. **Oral**
「刺激応答性超分子と In situ 反応系が織りなす非平衡ダイナミクス」、窪田 亮、和歌山市民図書館、2023 年 11 月 30 日
76. **Oral**
「生きたマウス脳内での内在性神経伝達物質受容体の化学標識」、野中 洋、第 46 回日本分子生物学会年会、神戸ポートアイランド、2023 年 12 月 6 日-12 月 8 日
77. **Oral**
「生きた動物脳内での受容体化学標識技術とその応用」、野中 洋、Chemistry for Life science 2023、公益財団法人 大学セミナーハウス、東京都八王子市、2023 年 12 月 9 日-12 月 10 日

78. **Poster**
“Emergence of dynamic instability by hybridization of supramolecular dipeptide fibers with surfactant micelles”, Ryou Kubota, CEMSupra2024, The University of Tokyo, Japan, January 18-19, 2024.
79. **Oral**
「オルガネラ選択的な脂質のケミカルラベリング」、田村 朋則、レドックス R&D 戦略委員会－第 4 回春のシンポジウム「多様な脂質分子とレドックス研究の接点」、北里大学 白金キャンパス、2024 年 3 月 15 日－3 月 16 日
80. **Oral**
「生きた細胞内でのタンパク質凝縮操作技術の開発と応用」、中村 秀樹、第1回関西生物物理学研究会、大阪大学豊中キャンパス、2024 年 3 月 18 日－3 月 19 日
81. **Oral**
「生きた動物脳内での受容体のケミカルラベルとその応用」、野中 洋、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日－3 月 21 日
82. **Oral**
「光反応で受容体インタラクトームの脳内地図を描く」、田村 朋則、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日－3 月 21 日
83. **Oral**
“PhoxID light-driven proximity labeling (1): Application to GPCR interactome mapping”, Fatima Yuri Tanimura Valor, Mikiko Takato, Tomonori Tamura, Itaru Hamachi, The 104th CSJ Annual Meeting (2024), Funabashi Campus, Nihon University College of Science and Engineering, March 18-21, 2024.
84. **Oral**
「光駆動型近傍ラベリング PhoxID の新展開(2):リン脂質近傍プロテオミクス」、杉本 直樹、田村 朋則、浜地 格、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日－3 月 21 日
85. **Oral**
「ペプチド型超分子ファイバーと界面活性剤ミセルの複合化による動的不安定性の創発」、窪田 亮、鳥越 祥吾、濱中 佑也、長尾 和俊、浜地 格、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日－3 月 21 日
86. **Oral**
「脳内リガンド指向性化学とクリックケミストリーの組み合わせによるグルタミン酸受容体の高速ラベル化戦略」、坂本 清志、白岩 和樹、野中 洋、浜地 格、日本化学会 第104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日－3 月 21 日
87. **Oral**
「生きたマウス脳内でのミクログリア選択的化学標識と機能解析への展開」、王 萌初、野中 洋、浜地 格、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日－3 月 21 日

88. **Oral**
“Development of ONOO⁻-responsive protein labeling for ROS/RNS conditional proteomics”, Hao Zhu, Hiroaki Uno, Kyoichi Matsuba, Itaru Hamachi, The 104th CSJ Annual Meeting (2024), Funabashi Campus, Nihon University College of Science and Engineering, March 18-21, 2024.
89. **Oral**
“Tyrosinase-based proximity labeling in living cells and in vivo”, Yuna Matsuda, Hao Zhu, Jae Hoon Oh, Takeharu Mino, Mamoru Ishikawa, Hideki Nakamura, Muneo Tsujikawa, Hiroshi Nonaka, Itaru Hamachi, The 104th CSJ Annual Meeting (2024), Funabashi Campus, Nihon University College of Science and Engineering, March 18-21, 2024.
90. **Oral**
「N-acyl-N-aryl sulfonamide(ArNASA)反応基: タンパク質の化学修飾と不可逆阻害」、河野 正晴、村川 駿介、杉原 大、田村 朋則、浜地 格、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日-3 月 21 日
91. **Oral**
「新規シナプス介入技術を用いた記憶・学習の制御と理解」、掛川 渉、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日-3 月 21 日
92. **Poster**
「GluD2 ラーチャー変異体のチャネル活性の種間差により明らかとなったイオンチャネル型グルタミン酸受容体の M4 ヘリックス上部の機能的役割」、伊藤 政之、掛川 渉、柚崎 通介、第 101 回日本生理学会大会、北九州国際会議場・西日本総合展示場 新館・AIM、2024 年 3 月 28 日-3 月 30 日
93. **Oral**
“Chemical neurotransmitter receptors labeling and optical proteome mapping in live brain”, Tomonori Tamura, Itaru Hamachi, Chemical Tools for Complex Biological Systems III, Janelia, USA, March 27-30, 2024.
94. **Oral**
“Optochemical profiling of receptor-proximal proteins in the live mouse brain in minutes”, Tomonori Tamura, Mikiko Takato, Seiji Sakamoto, Hiroshi Nonaka, Itaru Hamachi, Chemical Tools for Complex Biological Systems III, Janelia, USA, March 27-30, 2024.
95. **Oral**
「神経細胞でグルタミン酸受容体の精密動態解析を実現する新たな化学修飾技術」、清中 茂樹、第 96 回日本生化学会大会、福岡国際会議場・マリンメッセ福岡 B 館、2023 年 10 月 31 日-11 月 2 日
96. **Oral**
「アデノシン受容体を標的とした次世代ケモジェネティクスと光薬理学の展開」、堂浦 智裕、第 96 回日本生化学会大会、福岡国際会議場・マリンメッセ福岡 B 館、2023 年 10 月 31

日-11月2日

97. Oral

「分子標的ケモジェネティクスによる神経伝達物質受容体の精密制御」、清中 茂樹、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日-3 月 21 日

98. Oral

「新規イメージングプローブによるシナプス可塑性時の AMPA 受容体の精密動態解析」、曾我 恭平、柴田 晃大、Hansel Adriel、藤原 孝彰、南後 恵理子、清中 茂樹、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日-3 月 21 日

99. Oral

「構造変化を干渉する分子ストッパーによる AMPA 受容体のケモジェネティック制御」、三浦 裕太、小島 憲人、宮下 治、堤 尚孝、浜地 格、山下 敦子、清中 茂樹、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日-3 月 21 日

100. Oral

「アデノシン A2A 受容体サブタイプ選択的な光応答性リガンドの開発およびその構造基盤」、鈴木 啓文、堂浦 智裕、荒谷 剛史、浅田 秀基、岩田 想、清中 茂樹、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日-3 月 21 日

101. Oral

「Loop-Swapping によるセロトニン 5-HT_{2A} 受容体に対する臨床薬の親和性制御」、井上 始、堂浦 智裕、清中 茂樹、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日-3 月 21 日

102. Oral

「代謝型グルタミン酸受容体 1 のケモジェネティック制御及び人工リガンドの in vivo 動態解析」、近藤 匠、堂浦 智裕、山崎 友照、藤永 雅之、張 明栄、清中 茂樹、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日-3 月 21 日

103. Oral

「細胞外ループの構造情報に基づくドーパミン受容体のケモジェネティック制御」、原 隆史、柏 俊太郎、堂浦 智裕、清中 茂樹、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日-3 月 21 日

104. Oral

「分子標的ケモジェネティクス:次世代細胞操作および新たな創薬の可能性」、清中 茂樹、第 10 回 NUSR-CeSPI 合同セミナー/第 39 回細胞生理学セミナー、オンライン、2024 年 2 月 9 日

105. Oral

「G タンパク質共役型受容体の生理機能解明に向けた in vivo ケモジェネティクスの構築」、堂浦 智裕、京都薬科大学シナジー共同研究講演会、京都薬科大学、2024 年 2 月 22 日

106. **Oral**
「オルガネラ選択的な有機化学から細胞生物学へのアプローチ」、田村 朋則、浜地 格、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日－3 月 21 日
107. **Oral**
「非平衡過程を活用した生体機能分子の配列」、窪田 亮、浜地 格、日本化学会 第 104 春季年会(2024)、日本大学理工学部船橋キャンパス、2024 年 3 月 18 日－3 月 21 日
108. **Oral**
「生命の化学とは」、浜地 格、杉本直己教授退職記念講演会 Naoki Science Forum ～NSF～、神戸ポートピアホテル、2024 年 3 月 2 日